



大阪国際空港航空機事故対処総合訓練の実施

大阪国際空港における航空機事故を想定し、大阪国際空港緊急計画に参画する関係機関がそれぞれの役割と相互協力の下、消火救難活動及び救急医療活動を迅速かつ的確に実施し、人命の救助と被害軽減を図る訓練を、下記のとおり実施します。

記

1. 実施日時 2012年11月22日(木) 13:30~15:30 (小雨決行、荒天中止) 予備日なし
2. 実施場所 大阪国際空港第7エプロン(別図参照)
3. 主催 大阪国際空港緊急計画連絡協議会
4. 参加機関等
 - (1) 参加機関: 52 機関
(国土交通省大阪空港事務所、陸上自衛隊、警察機関、消防機関、医療機関等)
 - (2) 参加人員: 470 名
 - (3) 参加車両: 59 台
 - (4) 参加航空機: 1 機 (B737-500 型機) 全日本空輸株式会社
 - (5) 参加ヘリコプター: 5 機 (陸上自衛隊、大阪市消防局、大阪府ドクターヘリ、兵庫県消防防災航空隊、兵庫県警察本部)
 - (6) 大型バス: 2 台 大阪空港交通株式会社
5. 訓練想定
「青空航空 112 便 B737 型機は、大阪国際空港を離陸滑走中に第 1 エンジンから出火したため、機長は離陸を中止したが当該機は、B 滑走路の中央付近で爆発し炎上、乗員・乗客に多数の負傷者が発生した。」との想定で訓練を実施。
6. 主な訓練事項
 - (1) 関係機関相互の情報伝達訓練
 - (2) 航空機火災の消火及び搭乗者の救助訓練
 - (3) 負傷者のトリアージ、搬送及び医療救護訓練
 - (4) 救護所の設置及び運用訓練
 - (5) ドクターコマンダーの活動訓練
 - (6) 通信機器の設置及び運用訓練
 - (7) ヘリコプターによる負傷者搬送訓練
 - (8) 警備及び警戒区域の設定訓練
 - (9) 現地対策本部、現場合同調整所の設置及び運用訓練
7. その他
訓練の中止は、訓練当日の 10 時迄に決定し連絡します。



2012年度 大阪国際空港航空機事故対処総合訓練会場図

